

第6次綾部市総合計画前期基本計画 進捗を共有する指標の状況（令和5年度）

綾部市では、「一人ひとりの幸せをみんなで紡いで実現できるまち…綾部」を将来都市像とする第6次綾部市総合計画を策定し、その実現のため各種施策の推進に努めています。

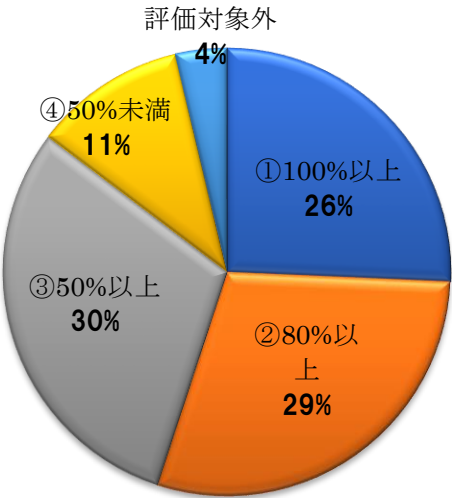
令和3年度から5か年を計画期間とする前期基本計画において、施策の進捗を市民と共有する109項目の指標を定め、その進捗状況を毎年度確認しながら達成に向けた取組を進めていくこととしています。

前期基本計画期間の3年を経過した令和5年度の指標の進捗状況とをとりまとめましたのでお知らせします。

(1) 進捗を共有する指標の結果

令和5年度における全109項目の進捗を共有する指標の目標値に対する実績値の比率について、100%以上が28項目(26%)、80~100%未満が32項目(29%)、50~80%未満が33項目(30%)、50%未満が12項目(11%)となりました。

令和7年度までの前期5か年において、指標の実績を確認する中で、PDCAサイクルを回し、計画に基づく各施策を推進します。



章別の進捗を共有する指標の状況 (単位: 項目)

章／進捗率	100%以上	80～100%未満	50～80%未満	50%未満	評価対象外	総計
1 章	4	6	5	3	2	20
2 章	6	3	1	1	1	12
3 章	2	7	9	2	0	20
4 章	5	5	10	1	0	21
5 章	7	6	7	4	0	24
6 章	4	5	1	1	1	12
総計	28	32	33	12	4	109
割合	25. 7%	29. 3%	30. 3%	11. 0%	3. 7%	

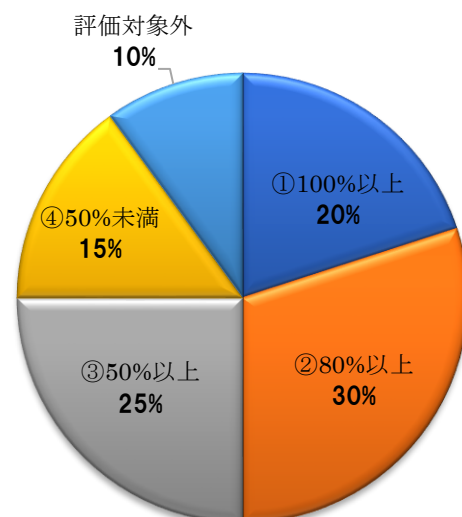
(2) 各章ごとの取組結果

第1章 平和をねがい、祈りのあるまち

○この章では、人権尊重社会の実現、平和の発信と国際交流、防災対策の推進、消防・救急体制の充実、生活の安全性の向上について、計画を定めています。

○20項目のうち4項目(20%)が100%以上、6項目(30%)が80~100%未満となっています。

- ・人権福祉センター各種講座参加者数
4,208人(目標4,500人) 93.5%
- ・木造住宅耐震診断補助実施数
256件(目標270件) 94.8%
- ・あやべ見守りCAR参加台数
509台(目標500台) 101.8%

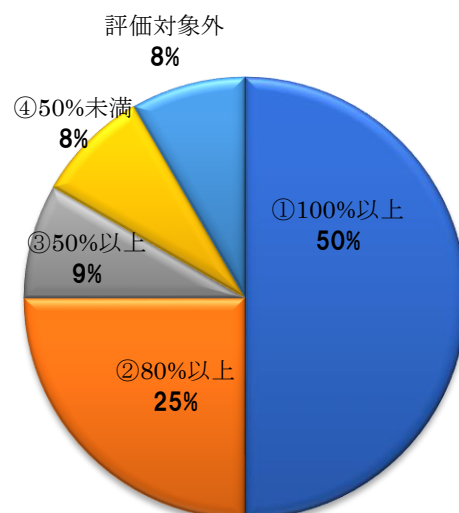


第2章 自治を高め、心のつながりのあるまち

○この章では、市民活動の促進と地域の活性化、男女共同参画社会の実現、情報の発信と共有、健全な行財政運営と広域連携について、計画を定めています。

○12項目のうち6項目(50%)が100%以上、3項目(25%)が80~100%未満となっています。

- ・あやべハートセンター利用件数
410件(目標400件) 102.5%
- ・FMいかる・あやべール・地域メルマガ等への市政情報提供件数
1,739件(目標1,700件) 102.3%
- ・ふるさと納税件数
3,184件(目標1,400件) 227.4%

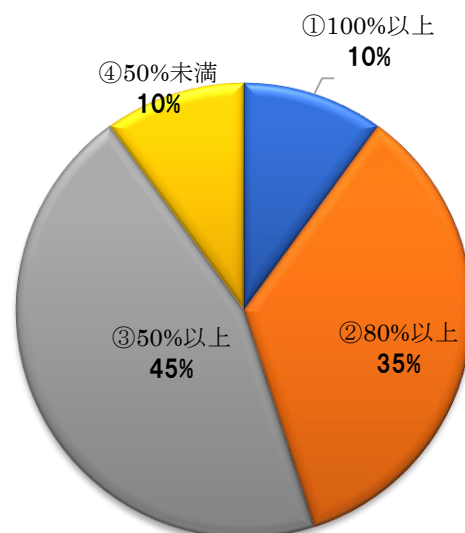


第3章 教育をたいせつにし、文化のかおるまち

○この章では、幼稚園、小・中学校教育の充実、社会教育の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術の振興について、計画を定めています。

○20項目のうち2項目(10%)が100%以上、7項目(35%)が80~100%未満となっています。

- ・地域の行事に参加する子どもの割合(中3)
62%(目標75%) 82.7%
- ・資料館利用者数
2,634人(目標2,550人) 103.3%
- ・総合文化祭入場者数
4,885人(目標5,700人) 85.7%

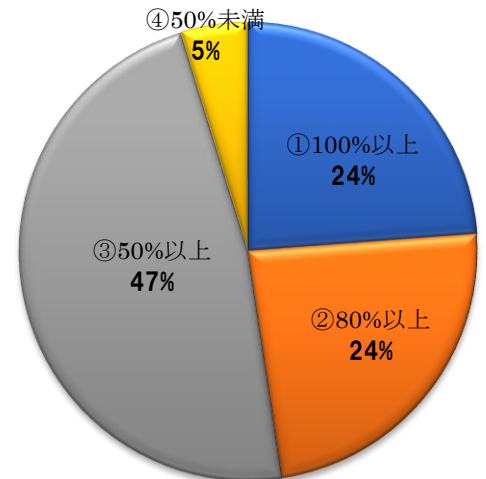


第4章 環境をととのえ、健康のあふれるまち

○この章では、環境保全と廃棄物対策の推進、地域福祉社会の実現、子育て環境の充実、高齢者福祉の推進、障害者福祉の推進、保健の推進、医療体制の充実について、計画を定めています。

○21 項目のうち5項目（24％）が 100％以上、5項目（24％）が 80～100％未満となっています。

- ・ファミリー・サポート・センター会員数
197 人（目標 150 人）131.3％
- ・認知症サポーター養成講座受講者数
12,428 人（目標 13,500 人）92.1％
- ・地域活動支援センター利用者数
1,133 人（目標 966 人）117.3％

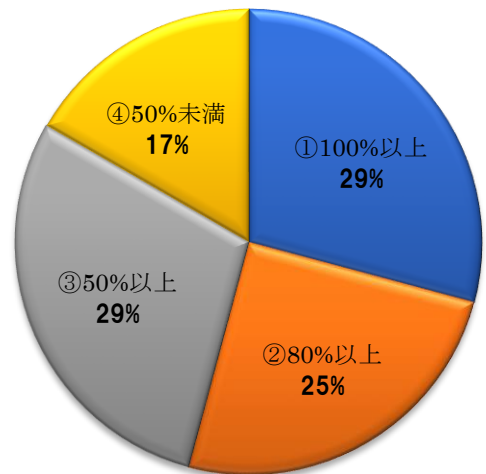


第5章 産業をおこし、豊かなくらしのあるまち

○この章では、農林業・内水面漁業の振興、商工業の振興と雇用促進、観光と交流の推進、移住・定住の促進、スポーツの振興について、計画を定めています。

○24 項目のうち7項目（29％）が 100％以上、6項目（25％）が 80～100％未満となっています。

- ・認定農業者数（個人・法人）
52 経営体（目標 55 経営体）94.5％
- ・ふるさと就職支援情報発信事業提供者数
737 人（目標 750 人）98.3％
- ・定住世帯数（定住サポート総合窓口扱い）
386 世帯（目標 360 世帯）107.2％

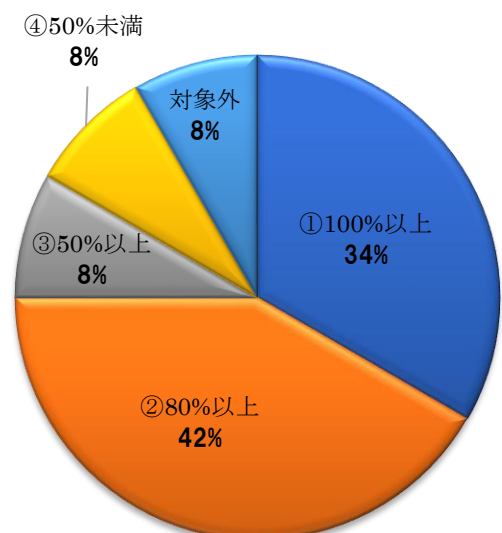


第6章 計画を定め、輝かしいあしたをひらくまち

○この章では、土地利用と市街地の形成、道路・公園の整備、公共交通の充実、上下水道の運営と整備について、計画を定めています。

○12 項目のうち4項目（33％）が 100％以上、5項目（42％）が 80～100％未満となっています。

- ・借上型市営住宅の整備戸数
76 戸（目標 90 戸）84.4％
- ・あやバス乗車人数
165,617 人（目標 205,000 人）80.8％
- ・汚水処理人口普及率
86.7％（目標 85.2％）101.8％



第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値(R元)	目標値(R7)	R4実績	①R5実績	R5達成率	R5達成区分	②R5実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
1	1 平和をねがい 祈りのあるまち	人権尊重社会の実現	人権推進課	綾部市は、人権が尊重された豊かなまちになっていると思う人の割合		↑	38.5% (H30)	50.0%	不明	不明	対象外	対象外	市民意識調査を予定していたが、令和6年度実施へ変更となったため、現段階では不明である。	関係機関と連携し、研修会や講演会を実施するとともに、広報紙や機関紙、ホームページ等を利用して情報発信を行うなど、人権教育・啓発の推進に努める。
2	1 平和をねがい 祈りのあるまち	人権尊重社会の実現	市民・国保課	登録型本人通知制度登録者数		↑	395人	1,000人	574人	606人	60.6%	③50%以上	LINEを活用し、制度の広報を行った。また、市職員があやべ人権フェスタに出向き、新規登録者の増加に努めた。	イベント等でのPRや出張申請を継続して実施する。広報紙、ホームページや窓口での案内などを中心としてPRに努める。
3	1 平和をねがい 祈りのあるまち	人権尊重社会の実現	人権推進課 社会教育課	人権に関する啓発活動や講演会などへの年間参加者数		↑	2,198人	2,550人	1,431人	2,287人	89.7%	②80%以上	【人権推進課】 「あやべ人権フェスタ2023」として映画「破戒」の上映等を実施し、124人の参加があった。 【社会教育課】 人権を考えるセミナーは、中央公民館を会場に、年5回実施した。 全市人研、人権教育講演会も人数制限せずに、参加を呼びかけ実施した。	【人権推進課】 継続して開催することで、さらに広く市民への啓発につなげていく。 【社会教育課】 人権を考えるセミナーは、中央公民館のみならず他の会場も検討しながら、年5回の開催を実施する。全市人研、人権教育講演会は、人数制限せずに参加を呼びかける。市民や共催団体の実態やニーズに応じた講演内容を検討する。
4	1 平和をねがい 祈りのあるまち	人権尊重社会の実現	人権推進課	人権福祉センター各種講座参加者数	年間	↑	4,076人	4,500人	3,413人	4,208人	93.5%	②80%以上	講座参加者については、参加者の固定化や高齢化のため多くの講座で減少傾向にある一方で、パソコン講座は大きく増加している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止していたイベントも再開し全体の参加者としては大きく増加している。	継続事業については、引き続き実施し、さまざまな機会を通じて事業の周知を行う。 各種講座によっては、市民ニーズに沿った事業となるよう見直しを行い、趣旨を理解いただきながら魅力あるものにする。
5	1 平和をねがい 祈りのあるまち	平和の発信と国際交流	企画政策課	綾部市民平和祈願の集い参加者数		→	150人 (H30)	150人	80人	中止	対象外	対象外	雨天により中止。	毎年、終戦記念日である8月15日に開催しているため、今後も引き続き、平和等をテーマに市民団体と連携しイベントや啓発活動に取り組んでいく。
6	1 平和をねがい 祈りのあるまち	平和の発信と国際交流	企画政策課	世界連邦推進綾部市小・中学生ポスター・作文コンクール応募数		↑	399点	460点	400点	361点	78.5%	③50%以上	市内全小・中学校へ作品の応募を依頼し、ポスター322点、作文39点の作品が集まった。うち、6点が全国コンクールで入賞した。 作品数は増加傾向にあるが、類似のコンクールが多数あるため、学校ごとの取組により応募点数が左右される状況である。	生徒・児童数の減少などを考慮しつつ、様々な機会を捉えてコンクールの趣旨や目的などを周知し、より多くの取組・参加を図る。
7	1 平和をねがい 祈りのあるまち	平和の発信と国際交流	企画政策課	綾部国際交流協会日本語教室等参加者数	年間	→	1,130人	1,130人	542人	716人	63.4%	③50%以上	綾部国際交流協会に委託し日本語教室や相談事業を開催した（日本語教室46回・相談事業48回）。参加者は学習者延べ374人・ボランティア延べ342人の計716人となった。	今後も、綾部国際交流協会と連携を密にし、日本語教室と相談業務を駅から近くより便利な市民センターで定期的（月4回）に開催する。また、外国人転入者の増加傾向を踏まえ、外国人への積極的なアプローチを行うことで参加者の増加に努める。
8	1 平和をねがい 祈りのあるまち	防災対策の推進	防災・危機管理課	防災座談会などの開催数	5か年累計	↑	105回 (H27～R元)	125回	31回	54回	43.2%	④50%未満	自治会や民生委員等を対象に出前講座等を開催した。 このほか、ホームページや広報紙など、各種メディアを活用した情報提供を行うことにより防災意識の高揚を図った。	地域への出前講座等を通じて、災害に対する日ごろの備えや避難情報の発令基準、情報発信手段や取得方法、災害時にとるべき行動などを伝えることにより、防災知識の向上と防災意識の高揚に取り組む。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	①R5 実績	R5 達成率	R5 達成区分	②R5実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
9	1 平和をねがい 祈りのあるまち	防災対策の推進	防災・危機管理課	避難行動タイムライン作成組織数	累計	↑	4組織	21組織	40組織	45組織	214.3%	①100%以上	志賀郷地区を中心に、市職員がファシリテーターとなりワークショップを開催した。また、福知山河川国道事務所と連携し、青野町でワークショップを開催した。令和5年度は5自治会でタイムライン及び防災マップを作成した。	市職員が地元に入りワークショップの進行役を担い、タイムライン及び防災マップ作成支援するなどバックアップ体制の構築を図る。
10	1 平和をねがい 祈りのあるまち	防災対策の推進	建設課	急傾斜地崩壊対策事業・砂防対策事業新規実施箇所数	累計	↑	0箇所	5箇所	2箇所	2箇所	40.0%	④50%未満	令和5年度の実績なし ※令和2年度以降に急傾斜地崩壊対策事業として小西地区（小西町）、砂防対策事業として大島川（大島町）に事業着手（府事業）	地元や府と調整を図り事業の進捗を図る。
11	1 平和をねがい 祈りのあるまち	防災対策の推進	建築課	木造住宅耐震診断補助実施数	累計	↑	187件	270件	243件	256件	94.8%	②80%以上	広報紙等での周知により診断実施件数としては、13件で例年並みとなった。	引き続き市民に周知を図り事業を推進する。
12	1 平和をねがい 祈りのあるまち	防災対策の推進	建築課	木造住宅改修補助件数	累計	↑	115件	195件	151件	159件	81.5%	②80%以上	広報紙等での周知により耐震改修件数としては、8件で例年並みとなった。	引き続き市民に周知を図り事業を推進する。
13	1 平和をねがい 祈りのあるまち	消防・救急体制の 充実	消防本部 予防課	訓練実施事業所・自治会数（防火座談会を含む）	年間	↑	109か所	200か所	132か所	135か所	67.5%	③50%以上	事業所の消火・避難訓練が84か所、防火座談会等の出前講座が51か所、計135か所の実施となり、増加となった。	事業所への立入検査により、事業所訓練未実施を指導し、是正する。
14	1 平和をねがい 祈りのあるまち	消防・救急体制の 充実	消防本部 管理課	各訓練・行事参加消防団員数	年間	↑	2,983人	3,000人	3,974人	3,120人	104.0%	①100%以上	消防団の各種訓練、研修において、団長点検を50回記念市長査閲式として行ったことから訓練回数が減少し、参加団員数も減少した。	消防団員の負担軽減に取り組むとともに、各種訓練、研修等の行事に参加しやすい環境づくりを行い消防団活動の活性化を図る。
15	1 平和をねがい 祈りのあるまち	消防・救急体制の 充実	消防本部 管理課	綾部市消防団応援の店登録件数		↑	105件	120件	114件	114件	95.0%	②80%以上	店舗に訪問する等、積極的な登録促進に取り組み5店舗に新規登録をいただいたが、社会情勢等の影響により廃業や業態変更をされる店舗が登録を廃止されたため、登録店舗数に増減がなかった。	新規店舗等に積極的に訪問し、消防団応援の店制度について理解を得るとともに、広報等を行い登録店舗数が増加するよう登録促進の活動を行う。
16	1 平和をねがい 祈りのあるまち	消防・救急体制の 充実	消防本部 警防課	救命講習受講者数	累計	↑	13,108人	15,300人	13,998人	14,384人	94.0%	②80%以上	救命率の更なる向上を目的として事業を継続実施した。令和2年度、3年度と新型コロナウイルス感染症の影響で開催回数及び新規受講者数が減少し、目標値の達成は困難な現状にあるが、昨年度から、おおむねコロナ禍前の水準まで回復している。 事業名称：普通救命講習Ⅰ、開催様態：出前講座を中心に自治会、企業、学校単位で実施、開催回数：39回、新規受講者数：386人	現在の事業展開を維持し、新規受講者数の増加に努める。
17	1 平和をねがい 祈りのあるまち	生活の安全性の向 上	市民協働課	交通安全啓発活動参加者数	年間	↑	598人	650人	534人	799人	122.9%	①100%以上	安全・安心のまちづくり推進協議会として、関係機関と連携し、街頭啓発活動や交通安全教室を行った。	引き続き、安全・安心のまちづくり推進協議会として、関係機関と連携し、街頭啓発や研修会などによる市民への交通安全意識の啓発や交通安全情報の提供を行う。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	①R5 実績	R5 達成率	R5 達成区分	②R5実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
18	1 平和をねがい 祈りのあるまち	生活の安全性の向上	市民協働課	防犯啓発活動参加者数	年間	↑	554人	650人	237人	275人	42.3%	④50%未満	安全・安心のまちづくり推進協議会として、関係機関と連携し、街頭啓発活動や講演会等を行った。	引き続き、安全・安心のまちづくり推進協議会として、関係機関とさらに連携を強化し、街頭啓発などによる市民への防犯意識の啓発や犯罪情報の提供を行う。
19	1 平和をねがい 祈りのあるまち	生活の安全性の向上	市民協働課	あやべ見守りC A R参加台数	累計	↑	291台	500台	483台	509台	101.8%	①100%以上	会議やイベントなど機会があるごとに広くチラシを配布し、事業の趣旨を理解してもらうことで登録増加に繋げた。	広く市民が集まる機会を活用して、事業の趣旨を理解いただき、引き続き登録台数の増加を目指す。
20	1 平和をねがい 祈りのあるまち	生活の安全性の向上	商工労政課	消費生活出前講座受講者数	年間	↑	181人	255人	218人	148人	58.0%	③50%以上	8団体に対し出前講座を開催した。	街頭啓発等の啓発活動とあわせて引き続き消費者被害の未然防止に努める。
21	2 自治を高め 心のつながりのある まち	市民活動の促進と 地域の活性化	市民協働課	コミュニティ助成事業数	5か年累計	↑	36件 (H27～R元)	50件	13件	18件	36.0%	④50%未満	自治会等地域活動の拠点となる公会堂等施設の改修工事や地域コミュニティの活性化に資する事業について支援を行った。	活動拠点施設整備及び活動への支援を行うため、市ホームページでの広報により制度の周知を図るとともに、申請受付時期には全自治会長宛てに文書案内を行う。また、自治会等の未活用団体へ積極的な推進を行うことで更なる活用数増加に努める。
22	2 自治を高め 心のつながりのある まち	市民活動の促進と 地域の活性化	市民協働課	自治会加入世帯率		↑	79.9%	85.0%	77.6%	77.1%	90.7%	②80%以上	自治会報償金や、自治会連合会活動支援・多種多様な地域課題解決のための自治会連合会補助金を交付した。 令和5年度より、自治会連合会が実施する環境保全活動に対する補助も拡充した。 自治会加入率は高齢化や外国人に関する問題等が影響しており、伸び悩みの状態にある。	自治会活動の支援等により、加入率の増加を目指す。 綾部市自治会連合会と連携を図り、加入促進策を検討する。
23	2 自治を高め 心のつながりのある まち	市民活動の促進と 地域の活性化	市民協働課	あやべボランティア総合センター登録団体数		↑	124団体	130団体	126団体	126団体	96.9%	②80%以上	ボランティア活動の普及と充実を推進し登録団体の増加に努めたが、増加には繋がらなかった。	引き続き、ボランティア活動の普及と充実を推進するため、登録団体の増加を目指す。
24	2 自治を高め 心のつながりのある まち	市民活動の促進と 地域の活性化	市民協働課	あやべハートセンター利用件数	年間	↑	369件	400件	337件	410件	102.5%	①100%以上	新型コロナウイルス感染症の影響による活動制限がなくなり、徐々に活動が再開されたことから利用件数の増加に繋がった。	引き続き、ボランティア活動を推進するため、安心して活動を行える拠点づくりを目指す。
25	2 自治を高め 心のつながりのある まち	男女共同参画社会の実現	人権推進課	社会全体で男女の地位が平等になっている と思う人の割合（R6） （「綾部市男女共同参画」に関する市民意識調査（5年ごとの実施））		↑	20.5%	30.0%	不明	対象外	対象外	対象外	5年ごとの実施のため令和5年度は実績なし。	社会全体に男女平等な状況になることを目指し、積極的に改善が行われるよう広く啓発を行う。
26	2 自治を高め 心のつながりのある まち	男女共同参画社会の実現	人権推進課	あいアカデミーなど各種講座への参加者数	年間	↑	263人	300人	420人	545人	181.7%	①100%以上	あいアカデミー：2回112人、あいアカデミー特別講座：3回44人、あいアカデミーミニ講座：2回20人、男性クッキング：2回11人、ババクッキング：1回6人、あいセンター講座：2回120人、出前講座：7回232人	男性や若年層、子育て世代が関心を持つテーマなど、内容に工夫をして開催することで広く市民の参加を促す講座を実施することにより、新たな層の参加につなげる。
27	2 自治を高め 心のつながりのある まち	男女共同参画社会の実現	人権推進課	審議会・委員会などにおける女性委員の比率		↑	30.0%	40.0%	31.0%	30.1%	75.3%	③50%以上	各所属において委員を任命するにあたり、充て職に寄らず女性を団体から推薦していただくなどの取組を行ったことにより、女性委員の比率が増加したが、目標値の達成には至らなかった。	引き続き、女性委員の登用を推進するよう各所属に依頼する。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の 方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	①R5 実績	R5 達成率	R5 達成区分	②R5実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
28	2 自治を高め 心のつながりのある まち	情報の発信と共有	秘書広報課	綾部市ホームページのトップページアクセ ス件数	年間	↑	453,191件	500,000件	953,867件	640,926件	128.2%	①100%以上	令和5年2月のホームページリニューアル以降、 トップページのメインビジュアルの見直しなどを 続け、令和5年度も多くのアクセスがあったが、 新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移 行し、ワクチン接種や支援制度などが落ち着いた ことから、アクセス数は減少した。	広報紙やLINE、Facebookとの連携を引き続き行う。分類や トップページのメインビジュアルなど見直しを続け、より市 民に見られ、必要な情報が伝わるホームページを構築する。
29	2 自治を高め 心のつながりのある まち	情報の発信と共有	秘書広報課	F Mいかる・あやべール・地域メルマガ等 への市政情報提供件数		↑	1,637件	1,700件	1,852件	1,739件	102.3%	①100%以上	FMいかるやあやべーる、地域メルマガ等を活用 して市の情報を周知した。（令和5年度実績：プ レスリリース975件、F Mいかる483件、あや べーる（お知らせ）281件）	引き続き情報発信に努める。
30	2 自治を高め 心のつながりのある まち	情報の発信と共有	行政デジタル推進課	地域メールマガジン登録件数		↑	6,144件	6,700件	6,583件	6,571件	98.1%	②80%以上	地域情報の受信手段としての役割があるメルマガ ということから若い世代から高齢者まで幅広い ニーズがあり、一定範囲で広報はできていると感 じている。また、新しい情報取得ツールである 「綾部市地域情報アプリ」を構築した。	スマホ所有者以外の方に対しては引き続きメールマガジンの 設定支援やメール受信設定の変更を柔軟に行う一方で、スマ ホ所有者に対しては、「綾部市地域情報アプリ」の利用促進 を図ってきたい。
31	2 自治を高め 心のつながりのある まち	健全な行財政運営 と広域連携	企画政策課	ふるさと納税件数	年間	↑	910件	1,400件	1,745件	3,184件	227.4%	①100%以上	寄附件数3,184件、寄付金額136,010,000円	中間事業者及び各ポータルサイト事業者と連携し、新たな返 礼品の拡充及び情報発信の強化により利用拡大を図る。
32	2 自治を高め 心のつながりのある まち	健全な行財政運営 と広域連携	企画政策課	企業版ふるさと納税件数	累計	↑	2件	12件	16件	21件	175.0%	①100%以上	寄附件数5件（内、物納による寄附1件）、寄附金 額31,243,250円（内、物納による寄附243,250 円）	企業への情報発信、営業活動を強化する。
33	3 教育をたいせつに し文化のかおるまち	幼稚園、小・中学 校教育の充実	学校教育課	小学校と連携した幼稚園教育が実施できて いると感じている保護者の割合		→	100%	100%	100%	100%	100.0%	①100%以上	幼小連携推進事業の計画に沿って、園と小学校の 子ども同士の交流活動や教師の研究会が進められ た。小学校と連携した体験活動を通して、園児は 学びの基盤となる意欲や根気、社会性などの力を 付けた。	幼小連携事業を中心に、架け橋期の2年間をイメージしなが ら「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識した園教 育と、その育ちを踏まえた小学校教育の充実に努める。幼児 教育アドバイザーの活用を継続し、園教育のさらなる充実 を図るとともに、保護者が作成する「入学前のお知らせと願 い『にこにこ』」や年度末に園と保護者、関係機関が共同で 作成する「移行支援書」等の活用を進める。
34	3 教育をたいせつに し文化のかおるまち	幼稚園、小・中学 校教育の充実	学校教育課	将来の夢や目標を持つ子どもの割合（中 3）		↑	64%	80%	76%	58%	72.5%	③50%以上	小学5年生で職場見学、中学2年生で職場体験学 習を実施した。また中学生を対象としたキャリア 教育講演会、中学生みらい会議等、将来を展望す る機会があった。また各校で実施するキャリア教 育の取組（ドリームマップ・キャリアパスポート 等）を通して、将来について考えることができて いる。	小中一貫したキャリア教育を充実させ、自分を客観的に見つ め、将来を展望する機会を大切にする。キャリア教育を軸と したカリキュラムマネジメントを実施し、様々な生き方がある こと、それぞれの希望や夢を大切に育む指導を実践する。 またそれぞれの将来の夢の実現につながる進路指導を充実さ せる。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の 方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	①R5 実績	R5 達成率	R5 達成区分	②R5実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
35	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	幼稚園、小・中学校教育の充実	学校教育課	地域の行事に参加する子どもの割合（中3）		↑	67%	75%	71%	62%	82.7%	②80%以上	子ども会の組織がしっかりと機能していること、地域活動が継続されていることが好結果につながっている。また学校をプラットフォームとして、学校・地域・PTAが取り組む行事が行われている。親が参加することで子どもも参加する割合が多いと分析する。	コミュニティスクールを中心とした、学校と地域が一体となって子どもたちを育む、見守る体制ができつつある。地域の実態に応じた行事や取組を、さらに工夫することで地域と学校が協働して子どもたちを育み、ふるさとを愛する子どもの割合も増加すると考える。
36	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	幼稚園、小・中学校教育の充実	学校教育課	中学校卒業時の英語検定3級以上取得者の割合		↑	39%	65%	44.0%	31.2%	48.0%	④50%未満	英検3級以上の取得者の割合は昨年度よりも減少した。全国学力学習状況の結果からも、英語科の教員が授業改善を進めることが必要と考える。	生徒の学力実態を分析し、4技能の習得を意識した授業改善を進めることで、英検3級相当以上の学力を定着させたい。
37	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	高齢者学級参加者数	年間	↑	2,459人	2,500人	1,638人	1,511人	60.4%	③50%以上	市内12地区で、年間2～7回開催。健康教室や演奏会、レクリエーション、人権学習等を行った。老人クラブの解散や加入会員の減少に伴い、高齢者学級の参加者も減少傾向にある。新型コロナウイルス感染症の影響や、台風の影響で中止になったところもあったが、概ね計画通りに開催することができた。	地域の実情にあった運営面での工夫や講座内容の充実に努めることにより、現状での利用人数の確保を目指す。
38	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	障害者教室参加者数	年間	↑	347人	350人	255人	286人	81.7%	②80%以上	青年学級、成人教室、視覚・聴覚・難聴講座の5講座を開催。スポーツや絵手紙作成、健康体操、音楽鑑賞、講座の合同交流会等、年間計22回の講座を実施した。	講座内容等の工夫を行い、参加者数を確保し、現状維持を目指す。
39	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	地区公民館利用件数	年間	↑	3,968件	4,000件	3,482件	3,474件	86.9%	②80%以上	公民館ごとの特色ある自主事業を通じて、施設の利用促進を図った。 新型コロナウイルス感染症の影響で利用件数が減少していたが、回復傾向である。	指定管理者による地域の実情に合った公民館運営により現状での利用件数・利用人数を確保する。
40	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	中央公民館利用件数	年間	↑	771件	780件	694件	709件	90.9%	②80%以上	貸館事業や自主事業（中丹ふれあいアカデミー）を開催した。 新型コロナウイルス感染症の影響で利用件数が減少していたが、少しずつ回復している。	貸館業務並びに自主事業の開催により、利用件数並びに利用者数の確保を図る。
41	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	図書館貸出冊数	年間	↑	130,190冊	186,000冊	126,254冊	144,675冊	77.8%	③50%以上	旧図書館から新図書館への移行時期、3か月弱休館したが、新図書館オープン後すぐに、継続事業の実施をする等、貸出冊数が伸びるよう努めた。その結果、昨年度より貸出冊数が増加した。	新図書館の機能を活かし、特集本の展示や、行事の実施、また、利用者のニーズや要求等を聞くなど、貸出冊数の増加に向けて図書館運営を行う。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値(R元)	目標値(R7)	R4実績	①R5実績	R5達成率	R5達成区分	②R5実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
42	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	図書館ホームページ及びオンライン蔵書目録アクセス件数	年間	↑	29,086件	41,000件	30,801件	22,914件	55.9%	③50%以上	ホームページ機能のバージョンアップに伴い、アクセス件数を計測できず、ホームページのトップページアクセス件数のみ計測となったもの。(参考：R4トップページアクセス件数 15,556件)	新図書館をさらに利用していただけるよう、行事の実施や展示本の紹介、新着情報などこまめな情報発信を行う。
43	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	天文館入館者数	年間	↑	11,794人	12,000人	8,719人	9,598人	80.0%	③50%以上	ゴールデンウィークの特別イベント「おもしろ自転車に乗ろう」を4年ぶりに開催。定員に制限を設けず開催する等、多くのイベントをコロナ禍前の方で開催した。 また、引き続き安全に施設を利用していただけるよう、進入路の改修工事を行った。	天文館という施設の特徴を生かして、更に魅力ある施設となるよう施設の整備を行い、ニーズに合った催しを企画していく。
44	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	資料館利用者数	年間	↑	2,508人	2,550人	2,000人	2,634人	103.3%	①100%以上	企画展示やミニ企画展示、特に初めて歴史に関する小学生の夏休み自由研究作品展示などを積極的に実施した。 (具体的な取組) ・山家城址・山家陣屋跡の企画展示 ・牧野富太郎の書籍「綾部市出身の植物学者 永井かなの研究資料より」のミニ企画展示 ・小学生の夏休み自由研究作品展のミニ企画展示 ・あひるタイムスリップ「今年20歳を迎える方の卒業当時にふりかえろう」のミニ企画展示 ・3館合同企画久田山フェスティバル ・古文書講座	展示や各種行事の企画、運営及び講座等の情報発信を積極的に行い、来館者増加を目指す。特に子ども向けの行事を実施し、文化財をはじめとする歴史資料に触れられる機会が得られる場所として企画を行う。 令和6年度から特別展示を隔年で実施する。また常設展示にも興味を示してもらえよう努める。
45	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	青少年健全育成の推進	社会教育課	青少年地域活動支援事業補助金交付団体数	年間	↑	29団体	30団体	7団体	9団体	30.0%	④50%未満	異世代間交流や体験活動などを通じて、青少年の健全な育成を促進するため、子ども会等地域の青少年育成団体に補助金を交付した。 コロナ禍があげたものの活動自体自粛傾向にあり、また中止や時間数の減少等により、申請後に辞退する団体が5団体あった。	近年、申請数が横ばい傾向であるとともに、申請団体が固定化されてきている中、学校などを通じ、より多くの子ども会等に周知を図り活用を促す。
46	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	青少年健全育成の推進	社会教育課	一斉声かけ参加者数	年間	↑	720人	850人	560人	443人	52.1%	③50%以上	11月17日を全市一斉声かけの日として実施した。公民館、PTA、学校等が連携した取組となっている。新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、例年通りの取組ができた。	「地域の子どもは地域で育てる」という機運を高めるため、きかけづくりの事業として、より多くの参加者が得られるよう育成協賛団体等にさらに呼びかけ、参加者の増を目指す。
47	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	優良建築物活用事業利用件数	年間	↑	16件	18件	12件	13件	72.2%	③50%以上	優良な建築物で展覧会等を行いたい利用者に対し、会場使用料の一部を市が負担することにより、文化・芸術活動を支援した。	年間を通じて書や絵画をはじめとした文化活動の展示、発表の場としての利用がある。引き続きPR活動を行うとともに、近接する特産館とも協力をしながら適切な運営に努める。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の 方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	①R5 実績	R5 達成率	R5 達成区分	②R5実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
48	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	市美術展作品出展数		↑	266点	280点	232点	236点	84.3%	②80%以上	本年度は、第40回記念として開催した。記念事業として、「40回記念賞」の設置、「連続出展者表彰」を行った。 出展数増加のため各高校を回り出展を依頼した。	引き続き、関係団体や高校とも連携を図り、出展数の増加を図りたい。 また、洋画、日本画の出展数が減少傾向にあり部門の統一を視野に入れ検討していく。
49	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	市美術展入場者数		↑	2,557人	2,600人	1,625人	1,636人	62.9%	③50%以上	来場者数の増加に向けアートフェスタと同時開催し、相乗効果を図っている。	更なるPRに努め、市民の鑑賞の機会を提供していく。
50	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	総合文化祭作品出展数		↑	1,332点	1,400点	1,776点	1,233点	88.1%	②80%以上	文化協会会員の活動の成果の発表の場として、多くの作品が出展された。市民の文化活動の総合的な発表・鑑賞の場として市民文化の向上に貢献できた。	文化協会の充実発展と自主的事業の展開に向け、継続して支援を実施する。
51	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	総合文化祭入場者数		↑	5,674人	5,700人	3,982人	4,885人	85.7%	②80%以上	新たに体験教室を同時開催するなど内容について工夫し、多くの市民の来場があり、市民文化の向上に貢献できた。	多くの市民の方が入場しており、市内の文化振興につながっている。市内最大の文化活動鑑賞の場として今後も支援していく。
52	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	中丹文化会館入場者数	年間	↑	45,060人	50,000人	34,886人	37,921人	75.8%	③50%以上	計画通り事業が進められた。会館利用者の増加を図るため、鑑賞型事業を積極的に行われた。	中丹文化事業団については、鑑賞型事業はもちろんのこと、参加型事業、芸術文化創造活動の育成事業などを積極的に展開されており、引き続き支援を実施する。
53	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	環境保全と廃棄物対策の推進	環境保全課	1人当たりごみ排出量（家庭ごみ）	年間	↓	189kg	180kg	186kg	183kg	98.4%	②80%以上	ごみ分別の徹底など、ごみ減量化・資源化の取組推進により、燃やして処理するごみは、年々減少傾向にあるが、燃やさないで処理するごみは、過疎・高齢化等から、空き家の片付けなどが要因と思われるごみが増加している。	引き続き、ごみ分別の徹底とごみ減量化・資源化の普及推進に努める。
54	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	環境保全と廃棄物対策の推進	環境保全課	資源物（紙類）回収量	年間	↑	1,041 t	1,500 t	923 t	772 t	51.5%	③50%以上	資源回収補助金制度により、自治会やPTA等の団体による自主的な資源回収を支援した。 ネットニュース等の普及に伴う新聞紙等の減少により、目標とする回収量は達成できなかった。	紙類を少しでも多く、資源として出してもらうように資源回収補助金制度や古紙回収用保管庫設置費補助金制度のPRを行い、登録団体・回収量の増加に努める。
55	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	環境保全と廃棄物対策の推進	環境保全課	リサイクル推進員研修会参加率		↑	57%	65%	32%	34%	52.3%	③50%以上	「ごみ減量化の取組について」「ごみ処理状況について」の研修会を行った。令和5年度はペットボトルの水平リサイクルの取組等も含め研修を実施した。	参加率の向上を図り、参加者の理解を深めるため、研修内容や開催日等を検討する。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の 方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	①R5 実績	R5 達成率	R5 達成区分	②R5実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
56	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	地域福祉社会の実 現	高齢者支援課	地域福祉活動補助金交付件数	年間	→	32件	32件	22件	23件	71.9%	③50%以上	前年度と比較をすると、件数では1団体の増加であるが、補助金交付額では256千円の増となっており、コロナ禍により縮小されていた活動の活発化がうかがえる。一方、多くの団体が高齢者との感染予防を行いながらの交流に苦心されており、見守り・交流活動が行われやすいよう、引き続き検討を行った。	コロナ禍で活動を終了された団体が、戻ってこられる様子がなく、既存団体においても中心メンバーが高齢化する中で。従来のような活動をされることが難しくなっていることから、サークル内で様々検討が行われている。それぞれの団体の方向性を確認しながら、高齢者との交流・見守り活動に加えて、新規ボランティアを呼びかけやすい補助事業となるように検討が必要。
57	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	地域福祉社会の実 現	子育て支援課	シルバー・チャイルドハウス事業実施団体 数	年間	↑	6か所	8か所	6か所	6か所	75.0%	③50%以上	高齢者が中心となって子どもとの交流を行う団体に対して補助金を交付し、活動を支援した。 子どもと高齢者との交流の場を提供し、また、地域のひととともに、子どもが各種ふれあい活動に参加することで、世代間交流、子育て活動を促進した。 延べ開催回数82回（内1回は補助対象外） 参加延人数1,628人（子ども742人、指導者886人）	継続して同規模で高齢者が中心となって子どもとの交流を行う団体に対して補助金を交付し、子育て活動及び世代間交流を支援する。
58	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	子育て環境の充実	子育て支援課	児童館・児童センター利用児童数	年間	↑	8,590人	8,600人	6,204人	5,451人	63.4%	③50%以上	児童福祉法に基づき、児童の健康増進と情操を豊かにすることを目的に運営した。 市内3施設において、それぞれ未就学児を対象とした「ひろば」を計画的に開催するなど、利用促進に努めた。 児童数の減少に加え、小さい年齢から子ども園、保育園等への入園数が増加している（保育料の無料化・母親の就労者割合の増加等による）ことにより、目標値を達成することができなかった。	多くの児童に利用していただける効果的な事業実施に努め、施設の適正運営に努める。
59	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	子育て環境の充実	子育て支援課	保育所、認定こども園への入所（園）希望者の入所（園）率	年間	↑	99.4%	100%	100%	100%	100.0%	①100%以上	子育て世帯が安心して暮らし、働くことができるよう幼児教育・保育の場（保育所等9施設）を提供するとともに、幼児教育・保育の認定や各施設への入所調整を適正に実施した。 9施設の内訳（公立保育所1施設、私立保育所2施設、私立認定こども園6施設）	引き続き、子育て世帯が安心して暮らし、働くことができるよう幼児教育・保育の場（保育所等9施設）を提供するとともに、幼児教育・保育の認定や各施設への入所調整の適正実施に努める。
60	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	子育て環境の充実	こども支援課	ファミリー・サポート・センター会員数		↑	120人	150人	166人	197人	131.3%	①100%以上	社会福祉法人への業務委託により、綾部市ファミリー・サポート・センター事業を実施した。 会員相互の援助活動により、仕事と育児の両立を支援し、安心して子育てができる環境づくりを推進した。 （令和5年度末会員数（197人）の内訳） おねがい会員136人 まかせて会員55人 両方会員6人	経験と実績がある社会福祉法人への業務委託を継続し、会員の獲得と会員相互の援助活動の推進に努める。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値(R元)	目標値(R7)	R4実績	①R5実績	R5達成率	R5達成区分	②R5実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
61	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	高齢者福祉の推進	高齢者支援課	介護職員研修受講補助者数	年間	↑	—	10人	7人	6人	60.0%	③50%以上	市内事業所への周知により一定の利用者数があった。資格取得により、雇用の安定につながっている。福祉就職フェアの際に、就業への後押しとなるよう他の補助制度と合わせて案内している。	市内事業所へ研修受講の協力及び周知の依頼を行い、利用者数の増加を目指す。また、就職イベント等の際に配布する等、従事者でない層への広報・啓発により新規の従事者確保を図る。
62	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	高齢者福祉の推進	地域包括支援課	認知症サポーター養成講座受講者数	累計	↑	11,408人	13,500人	12,062人	12,428人	92.1%	②80%以上	サポーター養成講座は18回開催、新規養成者数366人であった。地域の集まりや学校、企業などの集まりの場で開催することで、多くの方に受講していただくことが出来た。また、児童、成人、高齢と幅広い世代の方に対して、広く開催することが出来た。	若い世代への理解や啓発のため、職域や学校関係などへ講座の周知を行う。また、地域の各種団体への呼びかけを引き続き行い、地域で認知症の人や家族を支える理解者を増やして認知症の人が安心して暮らせるまちづくりを行う。
63	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	高齢者福祉の推進	高齢者支援課	清山荘入館者数	年間	↑	26,705人	30,600人	17,792人	17,942人	58.6%	③50%以上	新型コロナウイルス感染症への予防対策と集会室のフローリング化工事を行った4月～9月までの月ごとの入館者数が減少傾向であったが、10月以降は各月とも前年度を上回る入館者数となった。	高齢者に限定された施設のため、高齢者が使いやすい施設となるよう、令和5年度に集会室を量数からフローリング化に改修を行った。また入り口の段差についても、これまでは簡易のスロープを取り付けただけであったが、傾斜度も緩やかになった固定のスロープ・手すりの取り付けを行った。今後も高齢者が利用しやすいように館内の改修を行いながら利用の増加につなげていく。
64	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	障害者生活支援事業相談件数	年間	↑	16,393件	16,400件	14,387件	18,787件	114.6%	①100%以上	全体の相談件数は増加し、虐待が疑われるケース、緊急対応を要するケース、緊急に入所先を探さないといけないケースなど地域との繋がりが希薄化するなどの背景から重度かつ緊急の案件が増加している。	相談支援事業所の体制強化や基幹相談支援センターによるバックアップを今後も図る。
65	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	障害者介護給付費等支給事業利用者数	年間	↑	5,121人	5,520人	5,229人	5,450人	98.7%	②80%以上	居宅介護、同行援護、生活介護等利用者ニーズに応えた支給決定及びサービス利用となるよう努めた。	障害福祉サービス事業所の拡充について支援をするなど、サービス提供基盤の整備に取り組み、利用者ニーズに即した多様なサービス利用につなげていく。
66	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	地域活動支援センター利用者数	年間	↑	956人	966人	957人	1,133人	117.3%	①100%以上	社会参加の場として多数の利用者に参加いただいた。事業内容もより多くの方が参加しやすいものになるよう見直しも行った。	若年層や知的、精神障害者など地域共生社会に則した誰もが利用しやすい場所となるよう、今後一層の参加への促しを行う。
67	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	精神障害者社会復帰相談者数	年間	↑	2,986人	3,080人	2,277人	1,885人	61.2%	③50%以上	相談支援事業所の側面的支援を中心に相談支援を行った。令和3年度からは基幹相談支援センターとして相談対応を行っている。8050問題や虐待ケース、その他病院や警察署をはじめとする関係機関等から入る緊急接相談など、様々な背景のある方たちの相談を行っている。	専門職を中心に、保健所をはじめとした様々な関係機関と連携を取りながら基幹相談支援センターとして支援を継続する。
68	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	保健の推進	こども支援課	乳幼児健康診査受診率	年間	↑	97.3%	98.5%	98.6%	98.4%	99.9%	②80%以上	体調不良、日程の都合等で延期される方がおられるが、随時勧奨を行っている。その他、健診結果にて発育発達面のフォローに繋げている。	未受診者の把握を行い、通知、電話、訪問等で勧奨をし、受診を促進する。また、健診受診者数の現状維持を目指す。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値(R元)	目標値(R7)	R4実績	①R5実績	R5達成率	R5達成区分	②R5実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
69	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	保健の推進	保健推進課	あやちゃん健康ポイント事業取組人数	年間	↑	1,185人	1,325人	953人	978人	73.8%	③50%以上	令和3年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で減少傾向にあったが、令和5年度は回復傾向にあるものの目標値は達成できなかった。	継続者を増やす仕組みづくりを検討する。また、令和6年度は、アプリを活用したポイント事業の運用を開始予定。
70	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	保健の推進	保健推進課	がん検診受診率	年間	↑	18.8%	22.0%	19.3%	18.9%	85.9%	②80%以上	令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により減少傾向だったが、回復しつつある。しかし、目標値は達成できなかった。京都府大規模実証事業にて、受診勧奨の効果検証を行い、定期的な受診勧奨、勧奨案内の見直しを行った。また、大幅に健診案内を見直した。	健診案内チラシを大幅に見直したことで、その効果と新たに見えてきた課題について見直ししていく。引き続き、受診率向上に向けて、広報・勧奨方法・精密検査精度管理の見直しを行っていく。
71	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	保健の推進	市民・国保課	特定健康診査受診率	年間	↑	34.6%	60.0%	33.2%	33.5%	55.8%	③50%以上	個別健診の通年実施、集団健診の休日実施、健診のお知らせによる周知、データ分析に基づく受診勧奨、保健師による戸別訪問、無料クーポンの送付等の取組を行い、受診環境の整備、受診への啓発を行った。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの拡大のため、予定していた受診勧奨が予定通り行えなかった。受診率が低迷しているため、受診率向上に向けた取組を行う必要がある。	個別健診の通年実施、集団健診の休日実施、健診のお知らせによる周知、データ分析に基づく受診勧奨、保健師による戸別訪問、無料クーポンの送付等の取組を行い、受診環境の整備、受診への啓発を行う。また、かかりつけ医との連携した受診啓発の検討を行う。
72	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	保健の推進	市民・国保課	国民健康保険料収納率	年間	↑	96.57%	97.00%	97.52%	97.47%	100.5%	①100%以上	納付書送付時に口座振替推進チラシ及び口座振替依頼書を同封し、広報紙やホームページへの掲載等により積極的に口座振替の推進を図っている。また、納期に振替不能となった場合は、通知の上、再振替処理をするなど、確実な納付を図った。きめ細やかな納付相談を行った結果、京都府内でも高い収納率を維持している。	引き続き、口座振替の推進とコンビネー納付の活用により、確実な納付となるよう納付環境を整えるとともに、きめ細やかな納付相談を行う。また、京都地方税機構と連携を密にし、収納率向上を図る。
73	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	医療体制の充実	保健推進課	奨学金貸与人数（医師）	5 か年累計	↑	4人 (H27～R元)	5人	0人	0人	0.0%	④50%未満	申請がなかったため、実績なし。	奨学金制度のPRを行い、医師確保に努める。
74	5 産業をおこし豊かなくらしのあるまち	農林業・内水面漁業の振興	農政課	京力農場プラン策定集落数	累計	↑	41集落	47集落	51集落	51集落	108.5%	①100%以上	これまで地域主体で策定していた「京力農場プラン」は、令和5年4月の農業経営基盤強化促進法改正により、令和6年度末までに市が「地域計画」を策定することとなった。そのため、京力農場プラン策定のための具体的取組はなし。地域計画策定に向けた集落に対するアンケート調査等を行った。	左記により、京力農場プラン策定数は今後増加しないもの。 令和6年度中の地域計画策定に向け、引き続きアンケート調査や地元協議に取り組み、地域ごとの現状や課題、今後の取組等を記載した「地域計画」に加えて、将来の農地耕作者（管理者）を記載した「目標地図」を作成する。
75	5 産業をおこし豊かなくらしのあるまち	農林業・内水面漁業の振興	農政課	認定農業者数（個人・法人）	年間	↑	48経営体	55経営体	49経営体	52経営体	94.5%	②80%以上	認定農業者をやめられた方はなく、新たに認定した方のみだったため、実績は純増となった。 令和5年度新規認定：3経営体 令和5年度やめられた方：0経営体	補助制度を活用する場合、認定農業者であると補助率が優遇されたり、認定農業者でないと活用できない補助制度もある。令和5年度においては認定農業者限定の綾部市独自の補助事業を実施した。 認定されるメリットを丁寧に説明し目標達成につなげる。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	①R5 実績	R5 達成率	R5 達成区分	②R5実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
76	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	農林業・内水面漁 業の振興	農政課	新規就農者数（支援事業活用分）	累計	↑	66人	73人	68人	68人	93.2%	②80%以上	新規就農の相談は継続的にあるものの、制度を活用して行政の支援が必要となる新規就農相談は極めて少ない。	令和6年度は農業研修を1人開始している。引き続き関係機関と連携して就農希望者に対し支援を行う。
77	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	農林業・内水面漁 業の振興	林政課	有害鳥獣被害面積	年間	↓	2,356a	1,154a	2,714a	1,949a	59.2%	③50%以上	昨年度よりも被害面積は減少し、着実に効果が上がっている。しかし、これまで被害のなかった未整備地区で被害が発生しており、引き続き整備を行う必要がある。	平成23年度に整備した電気柵の耐用年数が切れ、ワイヤーメッシュ柵も耐用年数が迫ってきており、施設も老朽化してきている状況である。侵入防止柵の整備による効果はあるため、今後も計画的に順次更新を行うことと併せて、鳥獣の捕獲や追払いも行っていく。
78	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	農林業・内水面漁 業の振興	林政課	森林経営管理権集積計画	累計	↑	0団地	6団地	2団地	2団地	33.3%	④50%未満	令和元年度に設定したモデル地区の2地区にて、団地内での追加集積を行った。数値増加はないが、森林整備の実績面積は増加した。	引き続き、意向調査実施計画に基づき市が集積すべき森林を設定していく予定である。また、地元からの要望に基づき随時の森林整備も進めていく。
79	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	商工業の振興と 雇用促進	商工労政課	空き店舗活用支援事業支援件数	累計	↑	4店	10店	6店	10店	100.0%	①100%以上	支援対象を綾部市立地適正化計画に定める都市機能向上エリアでの出店に拡大したことが奏功し、5件の出店を綾部商工会議所との連携により支援できた（新規4件、継続1件）。	引き続き綾部商工会議所との連携に努め、制度のPRを図る。
80	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	商工業の振興と 雇用促進	商工労政課	チャレンジショップ支援事業費補助金交付 件数	累計	↑	45店	59店	57店	61店	103.4%	①100%以上	4件（飲食業、理容業、美容業、サービス業各1件）に対し補助金を交付するとともに、地区商工繁栄会等への加入促進を図った。	引き続き、綾部商工会議所や地区商工繁栄会等との連携に努め、制度のPRを図る。
81	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	商工業の振興と 雇用促進	商工労政課	（一社）綾部工業研修所卒業者数	累計	↑	1,750人	2,030人	1,839人	1,874人	92.3%	②80%以上	企業訪問等の際に綾部工業研修所の受講を案内し、基礎コースは29人が卒業。また上級コースでは6人が修了し、修了者は78人となった。	周知に努め、受講者数の増加に繋げる。
82	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	商工業の振興と 雇用促進	商工労政課	北部産業創造センター内の機械貸付件数 （市内企業）	年間	↑	356件	460件	404件	364件	79.1%	③50%以上	企業訪問等の際に周知に努めたが貸付件数は減少した。	引き続き北部産業創造センターのPRを行い、更なる利用促進を図る。
83	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	商工業の振興と 雇用促進	商工労政課	事業所実態調査総売上額	年間	↑	1,434億円	1,580億円	1,738億円	2,253億円	142.6%	①100%以上	製造出荷額等の増加を図るため、生産体制の強化や設備導入に対応する補助金等の周知に努めた。	国等の補助制度等の利用促進や支援に努めていく。
84	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	商工業の振興と 雇用促進	商工労政課	ふるさと就職支援情報発信事業提供者数	累計	↑	598人	750人	705人	737人	98.3%	②80%以上	綾部市雇用促進連絡会議や定住・地域政策課と連携し、就職希望者や移住希望者への登録促進を図った。	引き続き、綾部市雇用促進連絡会議や定住・地域政策課との連携に努め、制度の登録促進を図り、就職フェア、インターンシップ等の情報を発信する。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の 方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	①R5 実績	R5 達成率	R5 達成区分	②R5実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
85	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	観光と交流の推進	観光交流課	日帰り観光客数	年間	↑	548,813人	560,000人	437,254人	464,117人	82.9%	②80%以上	コロナ禍が収束し、丹の国まつりや水無月まつり など市の催しのほかあやべ温泉等の観光施設への 来場がコロナ禍前の水準に戻りつつある。 また、あやべグンゼスクエアが初めて20万人に達 したほかミツマタ・ジャガ群生地にも人が戻りつ つあり、花の町として認知されつつある。	観光誘客をコロナ禍前の水準に戻すべく、森の京都DMOや 海の京都DMOと連携しながら、情報発信に努める。デー タ分析で綾部の強みの一つとして『花』が挙げられており、花 の名所の充実にも努める。また、自然の中で楽しめるカヌーや サイクリングを始めとしたレジャー・スポーツ、今年度改修 を行うあやべ温泉のキャンプ場などをアピールポイントとし て強化する。
86	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	観光と交流の推進	観光交流課	宿泊観光客数	年間	↑	50,230人	58,500人	42,358人	43,338人	74.1%	③50%以上	コロナ禍が収束し観光客は一定戻りつつあるが、 あやべ温泉の宿泊事業の休止もあり宿泊者数は微 増にとどまった。	農家民宿等の開業を支援し宿泊施設の増加に努める。また里 山交流研修センターの利用拡大をはじめとした宿泊客の獲得 へ向けて森の京都DMOや海の京都DMOと連携しながらプロ モーション活動や情報発信の強化に努める。
87	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	観光と交流の推進	定住・地域政策課	水源の里指定集落における都市交流人口	年間	↑	20,912人	28,800人	5,877人	8,971人	31.1%	④50%未満	各集落や協議会において、地元の方や大学、ボラ ンティアとともに農村都市交流を実施した。また 、ジャガ・ミツマタ群生地への来場者は例年と 比べ増加傾向にあるが、交流人口目標値には届か なかった。	地元の方や他団体の協力も得ながら農村都市交流を推進する とともに、水源の里集落や協議会が実施する都市交流事業・ 合同イベント等を活用し、交流人口、関係人口の更なる増加 を図る。
88	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	観光と交流の推進	観光交流課	里山ねっと・あやべ交流事業参加者数	年間	↑	2,775人	7,000人	230人	1,914人	27.3%	④50%未満	施設整備を行いコロナ禍前同様の活動を行ったが オンラインの普及もあり対面交流の参加者増には つながらなかった。 コワーキングスペースの利用が思うように伸びな かったことが課題。	里山交流研修センターで行う体験・交流事業を推進し、近隣 住民や農家民宿と連携した魅力ある都市農村交流事業を展開 していく。地域おこし協力隊の活用も視野に入れながら、地 域との連携を密にし、関係人口増加につながる事業を展開す る。
89	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	観光と交流の推進	企画政策課	あやべ特別市民制度登録者数		↑	1,858人	2,000人	1,613人	1,565人	78.3%	③50%以上	特産品の発送や広報紙などの情報発信により、会 員に本市の良さを広くPRするとともに、「ふる さと綾部の応援団」として更なる応援者の拡大を 図るため、機会あるごとに募集チラシを配布する などした。	現在既に実施している事業をベースとして、取組の充実、拡 大を目指す。
90	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	定住世帯数（定住サポート総合窓口扱い）	累計	↑	242世帯	360世帯	350世帯	386世帯	107.2%	①100%以上	定住実績が36世帯82人となり、移住者数で定住 サポート総合窓口開設以来最多となった。また、 京都市に開設している「あやべ定住サポート京都 サテライト店」での職員が出向く出張相談、特産 品等の物品販売をするあやべ市（いち）、移住定 住関連セミナー「田舎生活実践塾」を継続して実 施。	目標とする世帯数は達成しているが、さらに定住者が増える よう、継続して物件照会や市内外へのPRを実施する。京都 サテライト店での取組を継続して実施し、定住者の獲得を図 る。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値(R元)	目標値(R7)	R4実績	①R5実績	R5達成率	R5達成区分	②R5実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
91	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	こころへんのことつたえ隊隊員数	累計	↑	25人	110人	38人	43人	39.1%	④50%未満	定期的にリーダー会議を開催し、意見交換や移住・定住者獲得に向けた手法を検討した。移住フェア等の催しへの参加を依頼し、田舎生活のPRを行った。	こころへんのことつたえ隊員拡大のPRや、隊員と協力し、新たな情報発信の促進に取り組む。
92	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	水源の里への定住世帯数	累計	↑	29世帯	41世帯	41世帯	46世帯	112.2%	①100%以上	水源の里集落を訪れていただけるイベントを開催し交流人口の増加に向けた取組を行ったとともに、ブログやFacebookを活用し水源の里の魅力発信を行った。 令和5年度：5世帯	引き続き、水源の里集落の対象集落へ指定を受けていただくよう促すとともに、あわせて空き家登録も促してゆく。
93	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	水源の里指定集落数	累計	↑	17集落	23集落	20集落	20集落	87.0%	②80%以上	水源の里指定集落活性化事業などに対し補助金を交付するとともに人的支援を行った。	水源の里集落の指定を促進するとともに、定住促進と活性化を支援していく。
94	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	市民駅伝参加登録チーム数		↑	127チーム	130チーム	89チーム	89チーム	68.5%	③50%以上	コロナ禍以降、参加チームは例年より減少しているが、多くのチームに参加いただいており、健康増進と競技力の向上、また市民相互の親睦と交流を深める場として成果を挙げた。	継続して実施し、市民の誰もがいつまでもスポーツを楽しむことができる環境づくりを推進する。
95	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	二王門登山レース参加登録者数		↑	834人	850人	303人	463人	54.5%	③50%以上	昨年、コロナ禍での大会で得た運営方法を活用した。表彰式を4年ぶりに実施したが、例年同様の形式でスムーズに行うことができた。天候にも恵まれ、特に大きな事故等なく終了することができた。	継続して実施し、市民の誰もがいつまでもスポーツを楽しむことができる環境づくりを推進する。
96	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	スポーツ少年団加入率		↑	19.9%	20.0%	16.5%	12.1%	60.5%	③50%以上	体力テスト会、全国交流大会(指導者研修会兼ねる)を実施するとともに、スポーツ少年団に関するチラシを配布するなど団員拡充事業も行った。	少子化の影響はあるが、積極的支援により、団員数の現状維持を目指す。
97	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	スポーツ施設利用者数	年間	↑	158,911人	206,000人	196,205人	242,152人	117.5%	①100%以上	施設管理者と連携を密にし、施設の健全な維持管理と利用促進、利用者サービスの向上に取り組んだ。	施設の適正管理に努め、より利用しやすい施設となるようにするとともに、管理者と連携し各種大会の誘致を図る。
98	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	土地利用と市街地の形成	都市計画課	地籍調査完了面積	累計	↑	11.41km ²	11.98km ²	11.71km ²	11.71km ²	97.7%	②80%以上	青野Ⅱ地区(0.27km ²)について地籍図原図作成及び地籍測定を実施	青野Ⅱ地区について、地籍簿の作成と閲覧を実施 令和6年度以降、位田Ⅰ地区に着手
99	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	土地利用と市街地の形成	定住・地域政策課	あやべ桜が丘団地販売区画数(R6)	累計	↑	432区画	456区画	442区画	442区画	96.9%	②80%以上	令和5年度の販売実績は0件であった。 販売促進のため2か月に一回フリーペーパーへの広告記事を掲載、FMいかるでスポットCMを流すなどのPRを行った。 また、あやべ桜が丘ハウスパーク運営協議会を実施し、家電プレゼントキャンペーンを継続実施した。	引き続き、広告の掲載やFMいかるのCMを活用するとともにあやべ桜が丘ハウスパーク運営協議会と協力しながら、販売促進に努める。
100	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	土地利用と市街地の形成	建築課	借上型市営住宅の整備戸数	累計	↑	34戸	90戸	56戸	76戸	84.4%	②80%以上	令和5年度は3棟20戸が整備でき、総数は76戸になった。	引き続き住宅を建設いただく事業者を募集し、年間10戸程度を目標として事業を推進する。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値(R元)	目標値(R7)	R4実績	①R5実績	R5達成率	R5達成区分	②R5実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
101	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	道路・公園の整備	建設課	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく橋りょう補修数	累計	↑	7橋	27橋	19橋	19橋	70.4%	③50%以上	令和6年度以降補修予定の橋梁について、補修設計を実施（下八田陸橋、光里橋）	道路橋定期点検の結果により判定区分の高い橋梁について計画的に補修工事を行う。
102	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	道路・公園の整備	都市計画課	公園施設長寿命化計画に基づく都市公園遊具更新率	累計	↑	35.6%	59.3%	61.0%	64.4%	108.6%	①100%以上	計画に基づき遊具の更新を実施 栗師谷中央公園　すべり台1基 松ヶ台団地公園　ブランコ1基	計画に基づき貯寿命化対策を継続して実施
103	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	公共交通の充実	市民協働課	あやバス乗車人数	年間	↑	197,412人	205,000人	165,983人	165,617人	80.8%	②80%以上	徐々に回復傾向にはあるが、人口減少に伴う利用者数の減少もあり、新型コロナウイルス感染拡大前の状況まで回復することは困難な状況が続いている。 あやバス利用者に対し、メルマガやFacebook、LINE、FMいかる、X等の様々な情報ツールを活用し情報の発信・提供を行い利用促進を図った。 また、京都大学大学院の学術指導により、利用促進や令和6年4月からのダイヤ改正等に向けた助言を受け、ダイヤやルートの見直しを図り綾部駅北口等のバス停の新設を進めるとともに、中学生以下の運賃無料化を図り、多くの人が利用しやすいバス環境の整備に努めた。	こまめな情報発信や利用促進の事業を企画に努め、利用者等の声を聞きながら安定的な運行の確保と利便性の向上を図り、乗車増を目指す。 引き続き京都大学大学院の学術指導を受け、イベントなども取り入れながら利用促進に努める。
104	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	公共交通の充実	市民協働課	鉄道利用通学費補助金利用者数	年間	↑	59人	70人	30人	25人	35.7%	④50%未満	綾部市在住で、J R、京都丹後鉄道を利用して大学、短期大学、専門学校等へ通学する学生に対し、通学費の一部の補助を行った。また、補助率を定期券購入代金の1/4から3割補助に引き上げを行ったが、対象となる学生の人口減等の影響を受け、利用者数が減少した。	高等学校への説明やチラシの配布により制度の周知を図るとともに、利用者アンケート等でニーズ調査により利用しやすい内容を検討し、利用促進に努める。
105	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	公共交通の充実	都市計画課	パーク＆レール利用件数	年間	↑	13,475件	14,000件	事業廃止	事業廃止	対象外	対象外	R4事業廃止	
106	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	上下水道の運営と整備	上水道課	水道普及率		↑	98.5%	98.8%	98.6%	98.7%	99.9%	②80%以上	懸案事項である点在する奥上林の一部地区の未普及地については、地元の整備要望等の状況から、未普及地解消に向けた事業の着手には至らず、水道普及率の改善にはなかったが、当年度、未普及地を対象に飲用井戸等の整備に対する補助金を整備した。	引き続き水道未普及地解消に向け、対策について検討していく。
107	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	上下水道の運営と整備	上水道課	上水道管布設替え延長	年間	↑	988m	2,000m	1,995m	2,211m	110.6%	①100%以上	配水施設改良工事および公共下水道関連工事により、配水管の布設替えを行った。令和5年度における総布設延長の実績は2,807mで、布設替え延長については2,211mとなり、目標を達成することができた。	年間2,000mの布設替え工事を計画し、5か年で全体事業量10,000mの布設替えを目標に事業を実施する。
108	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	上下水道の運営と整備	下水道課	汚水処理人口普及率		↑	83.9%	85.2%	86.0%	86.7%	101.8%	①100%以上	公共下水道整備は年次計画に基づき、計画的に事業実施できた。また、浄化槽整備では広報等により募集を行い汚水処理人口普及率の向上に努めた。	引き続き、公共下水道整備、浄化槽整備を計画的に事業実施していく。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の 方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	①R5 実績	R5 達成率	R5 達成区分	②R5実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
109	6 計画を定め 輝かしいあしたをひ らくまち	上下水道の運営と 整備	下水道課	水洗化率		↑	74.8%	76.4%	77.4%	78.1%	102.2%	①100%以上	公共下水道整備は年次計画に基づき、計画的に事業実施できた。また、未接続者へのアンケート実施や、浄化槽整備では広報等により募集を行った。さらに、住民税非課税世帯対象に綾部市下水道接続補助金を創設し水洗化の向上に努めた。	引き続き、公共下水道整備、浄化槽整備を計画的に事業実施していく。